議長（福田会長）

会議資料 1 ページの報告第 4 号「各種事務事業の取扱いについて」事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは「各種事務事業の取扱い」につきましてご説明いたします。

第 2 回会議資料の 1 ページをご覧ください。報告第 4 号「各種事務事業の取扱いについて」。各種事務事業の取扱いのうち、総務専門部会、保健福祉専門部会が所管いたします事務事業につきまして、別紙のとおり調整いたしましたので、ご報告するものでございます。

各種事務事業の取扱いにつきましては、今回初めて報告する事項でございますので、その取扱いについてご説明いたします。1 ページの下段をご覧ください。

市町村の合併に際しましては、それぞれの市町村が行っております各種の事務事業につきまして、新市としてどのように取扱うかの協議・調整を行うこととなりますが、本協議会におきましては、2,000 を超える事務事業が協議・調整の対象となります。こうした各種事務事業の調整につきましては、専門的な協議・調整を行うために設置しております専門部会におきまして合併後の取扱いについて協議・調整を行い、調整が整った事項につきまして、協議会におきましては報告事項として総括的な説明を行ってまいります。

また、本日は、総務専門部会、保健福祉専門部会におきまして調整の整ったものを提出しておりますが、調整が整ったもののうち、住民生活に密着し、著しい影響を与える事項等につきましては、合併の方式などの自治体の存立に関わる基本的な事項や、議員の取扱いなど合併特例法による協議事項などと同様に、合併協定書の項目として審議をお願いしたいと存じます。

したがって、報告事項のうち、審議の結果、変更があるものにつきましては、再度協議・調整を行うことで、その調整案についての精度を確保したいと考えております。

2 ページをご覧ください。各種事務事業調整案総括表についてご説明いたします。まず 1 番目の項目として、調整の状況についてでございますが、こちらは各専門部会が所管いたします事務事業の総数と、既に提出いたしました事務事業数、第 2 回の協議会に提出いたしました事務事業数、まだ提出していない事務事業数を一覧にしたもので、現在のところ、調整対象となっております 2,099 の事務事業等のうち、今回は 26 事業を提出しているということでございます。

次に 2 の調整案の状況についてでございますが、こちらは協議会に提出いたします事務事業につきまして、行政制度の調整方針の「現行のまま存続」から「廃止の方向で調整する」までの 5 つの区分に応じて、どのようになっているかを整理したものでございまして、26 事業のうち、宇都宮市の制度を基準に調整し、合併時に調整するものが 24 事業、合併までに方向付けを行い、新市に移行後速やかに調整するものが 1 事業、段階的に調整するものが 1 事業ということでございます。

次のページ以降は、各専門部会ごと、また行政制度の調整方針ごとに、各専門部会から提出されました、それぞれの事務事業ごとに策定いたしました調査票の内容を整理したものととなっております。

3 ページの上段に記載されておりますように、まず、総務専門部会が所管する事務事業のうち、消防団に関する 8 つの事務事業につきましては、消防団の組織や報酬等を含め、(2) のとおり、すべて宇都宮市の制度を基準に調整するものとなっております。

次に 5 ページをお開きください。保健福祉専門部会が所管する事務事業のうち介護保険事業に関する 18 の事務事業につきましては、実態調査や広報・啓発など 16 の事務事業は、新市として一体的に実施することが必要であること等の観点から、宇都宮市の制度を基準に調整するものとなっております。

次に 11 ページをお開きください。介護保険事業計画の策定・進行管理につきましては、次期計画が平成 18 年度からのものであることから、新市に移行後速やかに調整するものとし、12 ページの賦課につきましては、各市町におきまして格差がございますことから、段階的に調整するものとなっております。

以上で各種事務事業の取扱いについての説明を終わります。

議長（福田会長）

報告第 4 号につきまして、12 ページまで事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問をお願いいたします。事務局報告にもありましたように、専門部会で調整をしていただいたものでございます。

それでは、ないようでございますので、報告第 4 号「各種事務事業の取扱い」につきましては、ご承認をいただくことでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

それでは、報告第 4 号はご承認をいただいたものといたします。